



## 2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画本部 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404  
 ファイナンス部長  
 定時株主総会開催予定日 2020年3月24日 配当支払開始予定日 2020年3月6日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年3月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年12月期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	288,187	—	15,605	—	17,002	—	12,047	—
2019年3月期	350,270	△0.9	16,746	△17.8	19,217	△12.6	11,844	△22.2

（注）包括利益 2019年12月期 9,057百万円（—%） 2019年3月期 9,520百万円（△51.1%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	185.31	—	5.6	4.9	5.4
2019年3月期	180.02	—	5.6	5.6	4.8

（参考）持分法投資損益 2019年12月期 181百万円 2019年3月期 138百万円

当社は、2019年6月25日に開催の第114回定時株主総会で「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となります。このため、対前期増減率については記載していません。なお、当社及び3月決算の国内子会社は4月1日から12月31日までの9ヶ月間、12月決算の海外子会社は1月1日から12月31日までの12ヶ月間でありま

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	343,812	220,915	62.0	3,284.19
2019年3月期	348,452	220,853	61.4	3,250.07

（参考）自己資本 2019年12月期 213,181百万円 2019年3月期 213,893百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	17,344	△9,022	△9,616	98,005
2019年3月期	20,324	△8,697	△4,566	99,237

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00	3,952	33.3	1.9
2019年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00	3,895	32.4	1.8
2020年12月期 (予想)	—	30.00	—	35.00	65.00		33.8	

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	170,500	—	5,400	—	6,000	—	4,300	—	66.24
通期	366,000	—	18,000	—	18,500	—	12,500	—	192.57

当連結会計年度は、決算期の変更により、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となっております。このため、対前期及び前年同四半期増減率については、記載しておりません。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-除外 -社（社名）-

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：有  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2019年12月期	68,468,569株	2019年3月期	69,414,469株
2019年12月期	3,557,196株	2019年3月期	3,602,394株
2019年12月期	65,013,019株	2019年3月期	65,795,742株

（参考）個別業績の概要

1. 2019年12月期の個別業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	205,383	—	11,499	—	13,701	—	9,512	—
2019年3月期	260,242	△2.4	11,863	△14.0	16,560	△4.4	13,036	△2.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	146.32	—
2019年3月期	198.14	—

（注）当事業年度は、決算期の変更により、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については、記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	294,523	193,761	65.8	2,985.01
2019年3月期	302,501	196,940	65.1	2,992.46

（参考）自己資本 2019年12月期 193,761百万円 2019年3月期 196,940百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(連結損益及び包括利益計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20
4. その他 .....	21

※参考資料 2019年12月期 決算短信補足説明資料

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社は、2019年6月25日に開催の第114回定時株主総会で「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となります。なお、当社及び3月決算の国内子会社は2019年4月1日から12月31日までの9ヶ月間、12月決算の海外子会社は2019年1月1日から12月31日までの12ヶ月間です。また、前連結会計年度と比較する場合については、当連結会計年度の連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前連結会計年度の実績として記載し、調整後の前連結会計年度の実績との対比による増減比を記載しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響により依然として不透明な状態が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、消費者コミュニケーションを軸として、重点ブランドの強化や、健康事業、海外事業の成長加速へ経営資源を集中して取り組みました。

その結果、売上面では、乳業部門、食品原料部門は前年同期を下回りましたが、菓子・食品部門、冷菓部門、海外部門、健康事業を含むその他部門が前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は288,187百万円となり、前年同期(284,830百万円)に比べ1.2%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、菓子・食品部門、冷菓部門等の売上原価率が上昇した一方、海外部門の売上原価率が低下したため全体ではほぼ前年同期並みとなりました。販売費及び一般管理費は、経営基盤強化のための社内インフラ整備費用等が増加しました。

その結果、営業利益は15,605百万円となり、前年同期(15,938百万円)に比べ332百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階での減益及び為替差損等により、17,002百万円となり、前年同期(18,431百万円)に比べ1,429百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却益や投資有価証券売却益等により12,047百万円となり、前年同期(11,886百万円)に比べ161百万円の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## ・セグメント別の概況

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	当連結会計年度	対調整後前年同期増減額	対調整後前年同期増減率(%)	当連結会計年度	対調整後前年同期増減額	対調整後前年同期増減率(%)
菓子・食品	71,789	1,323	1.9	5,236	378	7.8
冷菓	73,353	2,305	3.2	6,209	△866	△12.2
乳業	67,032	△2,649	△3.8	2,386	△245	△9.3
食品原料	8,314	△161	△1.9	648	△149	△18.7
海外	53,200	1,796	3.5	1,260	△88	△6.6
その他	14,496	742	5.4	251	206	454.1
調整	—	—	—	△388	432	—
合計	288,187	3,357	1.2	15,605	△332	△2.1

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## &lt;菓子・食品部門&gt;

売上面では、“ポッキー” “プリッツ” “GABA” “リベラ” 等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は71,789百万円となり、前年同期(70,465百万円)に比べ1.9%の増収となりました。利益面では、売上原価率の上昇はありましたが、販売促進費率の低下、広告費の減少等により、営業利益は5,236百万円となり、前年同期(4,858百万円)に比べ378百万円の増益となりました。

#### <冷菓部門>

売上面では、“パピコ”等は前年同期を下回りましたが、“アイスの実”“バナッパ”等が前年同期を上回りました。また、卸売販売子会社売上も、前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は73,353百万円となり、前年同期(71,048百万円)に比べ3.2%の増収となりました。利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は6,209百万円となり、前年同期(7,076百万円)に比べ866百万円の減益となりました。

#### <乳業部門>

売上面では、“アイクレオ”“とろ〜りクリームOn”“プッチンプリン”等は前年同期を上回りましたが、“カフェオーレ”“BifiXヨーグルト”等が前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は67,032百万円となり、前年同期(69,681百万円)に比べ3.8%の減収となりました。利益面では、減収による売上総利益の減少等により、営業利益は2,386百万円となり、前年同期(2,632百万円)に比べ245百万円の減益となりました。

#### <食品原料部門>

売上面では、“E-スターチ”「ファインケミカル」等は前年同期を上回りましたが、“A-グル”「澱粉」等が前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は8,314百万円となり、前年同期(8,476百万円)に比べ1.9%の減収となりました。利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は648百万円となり、前年同期(798百万円)に比べ149百万円の減益となりました。

#### <海外部門>

売上面では、中国をはじめインドネシア、米国等の子会社が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は53,200百万円となり、前年同期(51,403百万円)に比べ3.5%の増収となりました。利益面では、増収による売上総利益の増加等はありませんでしたが、販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は1,260百万円となり、前年同期(1,348百万円)に比べ88百万円の減益となりました。

#### <その他部門>

売上面では、“アーモンド効果”“SUNAO”等の健康食品が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は14,496百万円となり、前年同期(13,754百万円)に比べ5.4%の増収となりました。利益面では、増収による売上総利益の増加等により、営業利益は251百万円となり、前年同期(45百万円)に比べ206百万円の増益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は184,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,181百万円増加しました。これは主に商品及び製品が2,175百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が3,660百万円、有価証券が4,322百万円増加したことによるものです。固定資産は159,460百万円となり、連結会計年度末に比べ8,820百万円減少しました。これは主に投資有価証券が6,497百万円、減損によるのれんが3,384百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、343,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,639百万円減少しました。

### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は80,689百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,059百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2,189百万円、未払法人税等が1,615百万円増加しましたが、その他流動負債が3,623百万円、未払費用が1,715百万円減少したことによるものであります。固定負債は42,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,641百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が2,454百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、122,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,701百万円減少しました。

### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は220,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加しました。これは主に、剰余金の配当により4,253百万円、その他有価証券評価差額金が3,716百万円、自己株式が2,378百万円、為替換算調整勘定が349百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を12,047百万円計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は62.0%（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額(△は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,324	17,344	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,697	△9,022	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,566	△9,616	—
現金及び現金同等物期首残高	93,017	99,237	6,219
現金及び現金同等物期末残高	99,237	98,005	△1,231

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、投資活動及び財務活動による支出が営業活動による収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べ1,231百万円減少し、当連結会計年度末には98,005百万円となりました。

なお、当連結会計年度は、決算期の変更により、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となります。このため、対前期同期比については記載しておりません。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17,344百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が20,183百万円、減価償却費が10,845百万円及び、法人税等の支払額5,506百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9,022百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却および償還による収入が9,951百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が16,274百万円あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9,616百万円となりました。これは主に、配当金の支払額4,253百万円、自己株式の取得による支出5,002百万円があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2019年12月期
自己資本比率(%)	61.1	61.4	62.0
時価ベースの自己資本比率(%)	106.7	109.9	91.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	616.6	607.7	1,501.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- ※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調であるものの、通商問題の動向や、世界的な感染拡大が懸念されている新型コロナウイルスによる影響、海外経済の不確実性、金融市場の動向の影響など、先行きは未だ不透明なまま推移すると予想されます。

このような状況を踏まえ、2020年12月期(2020年1月1日から2020年12月31日までの12ヶ月間)の売上高は366,000百万円、営業利益は18,000百万円、経常利益は18,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は12,500百万円を目標としております。

部門別売上高は、菓子・食品部門は97,000百万円、冷菓部門は91,200百万円、乳業部門は83,700百万円、食品原料部門は10,800百万円、海外部門は63,100百万円、その他部門は20,200百万円を予定しております。

※当連結会計年度は、決算期変更により、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となっておりますので、2020年12月期の見通しにおける前年同期比については記載を省略しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	103,601	99,640
受取手形及び売掛金	40,128	43,788
有価証券	1,645	5,968
商品及び製品	16,237	14,061
仕掛品	768	795
原材料及び貯蔵品	14,106	15,016
前渡金	29	100
前払費用	385	800
短期貸付金	49	44
その他	3,268	4,186
貸倒引当金	△50	△50
流動資産合計	180,171	184,352
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	73,062	80,573
減価償却累計額及び減損損失累計額	△40,402	△39,916
建物及び構築物(純額)	32,659	40,656
機械装置及び運搬具	118,992	123,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△83,972	△87,475
機械装置及び運搬具(純額)	35,019	35,953
工具、器具及び備品	24,340	24,799
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,174	△21,149
工具、器具及び備品(純額)	3,165	3,649
土地	15,584	15,259
リース資産	1,720	1,385
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,105	△871
リース資産(純額)	615	513
建設仮勘定	12,421	3,774
有形固定資産合計	99,465	99,807
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	4,688	4,776
のれん	3,874	489
その他	914	1,721
無形固定資産合計	9,477	6,987
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	41,799	35,302
長期貸付金	917	72
長期前払費用	113	133
退職給付に係る資産	1,336	1,901
投資不動産	12,667	12,605
減価償却累計額及び減損損失累計額	△371	△364
投資不動産(純額)	12,296	12,240
繰延税金資産	939	798
その他	1,987	2,269
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	59,338	52,665
固定資産合計	168,281	159,460
資産合計	348,452	343,812



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,831	36,020
短期借入金	417	244
未払費用	30,128	28,413
未払法人税等	2,651	4,266
販売促進引当金	2,448	2,977
役員賞与引当金	38	36
株式給付引当金	44	30
債務保証損失引当金	—	134
その他	12,188	8,565
流動負債合計	81,749	80,689
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,103	30,087
長期借入金	220	—
退職給付に係る負債	5,286	2,831
繰延税金負債	5,098	4,186
その他	5,140	5,102
固定負債合計	45,849	42,207
負債合計	127,598	122,897
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	8,999	7,459
利益剰余金	190,892	197,881
自己株式	△6,566	△8,944
株主資本合計	201,098	204,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,551	8,835
繰延ヘッジ損益	73	73
為替換算調整勘定	395	45
退職給付に係る調整累計額	△225	56
その他の包括利益累計額合計	12,794	9,011
非支配株主持分	6,960	7,733
純資産合計	220,853	220,915
負債純資産合計	348,452	343,812

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	350,270	288,187
売上原価	184,167	150,127
売上総利益	166,103	138,060
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	30,617	24,855
販売促進費	53,243	42,776
販売促進引当金繰入額	2,448	2,977
広告宣伝費	14,408	11,717
貸倒引当金繰入額	22	△0
給料及び手当	17,200	14,182
賞与	5,615	4,069
役員賞与引当金繰入額	38	36
株式給付引当金繰入額	44	30
退職給付費用	492	723
福利厚生費	5,158	4,127
減価償却費	2,635	2,354
その他	17,430	14,602
販売費及び一般管理費合計	149,357	122,454
営業利益	16,746	15,605
営業外収益		
受取利息	545	434
受取配当金	729	720
為替差益	176	—
不動産賃貸料	757	602
補助金収入	489	534
その他	1,239	934
営業外収益合計	3,937	3,227
営業外費用		
支払利息	33	11
寄付金	71	113
為替差損	—	315
固定資産廃棄損	149	235
固定資産除却損	336	238
休止固定資産減価償却費	265	211
債務保証損失引当金繰入額	—	134
その他	609	571
営業外費用合計	1,466	1,831
経常利益	19,217	17,002

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	358	1,621
投資有価証券売却益	425	5,647
特別利益合計	784	7,268
特別損失		
減損損失	307	3,249
事業構造改善費用	516	75
投資有価証券評価損	—	650
特別退職金	85	18
退職給付制度終了損	292	—
その他	—	92
特別損失合計	1,202	4,087
税金等調整前当期純利益	18,798	20,183
法人税、住民税及び事業税	5,911	6,909
法人税等調整額	470	862
法人税等合計	6,381	7,771
当期純利益	12,417	12,411
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	11,844	12,047
非支配株主に帰属する当期純利益	572	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,035	△3,716
繰延ヘッジ損益	73	0
為替換算調整勘定	△1,435	231
退職給付に係る調整額	△314	281
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	△153
その他の包括利益合計	△2,896	△3,354
包括利益	9,520	9,057
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,039	8,263
非支配株主に係る包括利益	481	793

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,773	9,095	182,627	△6,802	192,694
当期変動額					
剰余金の配当			△3,623		△3,623
親会社株主に帰属する当期純利益			11,844		11,844
自己株式の取得				△150	△150
自己株式の処分		0		289	290
自己株式の消却		△97		97	—
連結範囲の変動			43		43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△96	8,264	236	8,404
当期末残高	7,773	8,999	190,892	△6,566	201,098

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,587	—	1,922	91	15,600	6,493	214,788
当期変動額							
剰余金の配当							△3,623
親会社株主に帰属する当期純利益							11,844
自己株式の取得							△150
自己株式の処分							290
自己株式の消却							—
連結範囲の変動							43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,035	73	△1,526	△316	△2,805	466	△2,338
当期変動額合計	△1,035	73	△1,526	△316	△2,805	466	6,065
当期末残高	12,551	73	395	△225	12,794	6,960	220,853

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,773	8,999	190,892	△6,566	201,098
当期変動額					
剰余金の配当			△4,253		△4,253
親会社株主に帰属する当期純利益			12,047		12,047
自己株式の取得				△5,002	△5,002
自己株式の処分		16		262	279
自己株式の消却		△1,556	△805	2,361	—
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,539	6,989	△2,378	3,071
当期末残高	7,773	7,459	197,881	△8,944	204,169

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,551	73	395	△225	12,794	6,960	220,853
当期変動額							
剰余金の配当							△4,253
親会社株主に帰属する当期純利益							12,047
自己株式の取得							△5,002
自己株式の処分							279
自己株式の消却							—
連結範囲の変動							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,716	0	△349	281	△3,783	773	△3,009
当期変動額合計	△3,716	0	△349	281	△3,783	773	61
当期末残高	8,835	73	45	56	9,011	7,733	220,915

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	18,798	20,183
減価償却費	13,175	10,845
減損損失	307	3,249
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,298	△2,614
B I P株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△75	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	44	△14
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	561	528
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	134
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	△1
受取利息及び受取配当金	△1,274	△1,155
支払利息	33	11
為替差損益 (△は益)	△275	211
固定資産売却損益 (△は益)	△358	△1,621
固定資産除却損	336	238
固定資産廃棄損	149	235
投資有価証券売却損益 (△は益)	△425	△5,647
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	650
売上債権の増減額 (△は増加)	903	△3,601
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,761	1,240
仕入債務の増減額 (△は減少)	140	2,205
その他	△55	△2,226
小計	26,950	22,851
法人税等の支払額	△6,626	△5,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,324	17,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,170	△6,000
定期預金の払戻による収入	13,970	7,000
有価証券の取得による支出	—	△2,500
有価証券の売却による収入	600	—
投資有価証券の取得による支出	△1,355	△4,458
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,104	9,951
有形固定資産の取得による支出	△16,890	△16,274
有形固定資産の売却による収入	930	2,837
無形固定資産の取得による支出	△1,587	△2,104
投資不動産の賃貸による収入	687	557
貸付けによる支出	△5	—
貸付金の回収による収入	51	850
利息及び配当金の受取額	1,354	1,180
その他	△386	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,697	△9,022

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△496	△189
長期借入金の返済による支出	△222	△193
利息の支払額	△33	△11
配当金の支払額	△3,623	△4,253
非支配株主への配当金の支払額	△15	△19
自己株式の売却による収入	252	244
自己株式の取得による支出	△150	△5,002
その他	△276	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,566	△9,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△840	62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,219	△1,231
現金及び現金同等物の期首残高	93,017	99,237
現金及び現金同等物の期末残高	99,237	98,005

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、海外展開の加速に伴い、在外子会社における海外売上高等の重要性が今後更に増加する見込みであることから、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(連結損益及び包括利益計算書関係)

減損損失

TCHO Ventures, Inc.に係るのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったことから、未償却残高の全額2,916百万円を減損損失として計上いたしました。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に事業部門を統括する事業統括本部を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「菓子・食品部門」、「冷菓部門」、「乳業部門」、「食品原料部門」及び「海外部門」の5つを報告セグメントとしております。

「菓子・食品部門」は、チョコレート・ビスケット・ガム・カレールウ・レトルト食品等を製造・販売しております。

「冷菓部門」は、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「乳業部門」は、乳製品・洋生菓子・乳幼児用ミルク等を製造・販売しております。

「食品原料部門」は、澱粉・色素等を製造・販売しております。

「海外部門」は、海外において菓子・冷菓等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準及び固定資産の減価償却方法を除き、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

棚卸資産の評価基準については、一部、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の社内振替高により評価しております。

固定資産の減価償却方法については、一部を定額法により計算しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	菓子・食 品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	94,905	85,037	90,149	10,768	51,572	332,434	17,836	350,270	—	350,270
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	965	120	177	204	1	1,469	4,855	6,325	△6,325	—
計	95,871	85,157	90,327	10,973	51,573	333,904	22,692	356,596	△6,325	350,270
セグメント利益	6,134	6,864	2,821	915	1,409	18,145	336	18,481	△1,735	16,746
セグメント資産	48,685	42,911	28,687	5,996	29,377	155,657	1,398	157,056	191,395	348,452
その他の項目										
減価償却費	3,050	4,196	1,706	133	1,731	10,819	277	11,096	2,078	13,175
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	6,584	5,131	1,386	156	1,981	15,240	92	15,332	7,172	22,505

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,735百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,290百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,026百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額191,395百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費調整額2,078百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,172百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費、及び全社取得資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	菓子・食 品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	71,789	73,353	67,032	8,314	53,200	273,690	14,496	288,187	—	288,187
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	598	84	8	164	—	855	4,531	5,386	△5,386	—
計	72,388	73,437	67,040	8,479	53,200	274,546	19,028	293,574	△5,386	288,187
セグメント利益	5,236	6,209	2,386	648	1,260	15,742	251	15,993	△388	15,605
セグメント資産	49,584	39,138	29,574	5,650	26,993	150,941	1,390	152,331	191,480	343,812
その他の項目										
減価償却費	2,742	3,062	1,213	105	1,583	8,707	200	8,907	1,937	10,845
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,200	1,799	1,824	225	1,395	8,445	98	8,543	5,152	13,696

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△388百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,740百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,128百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額191,480百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費調整額1,937百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,152百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費、及び全社取得資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
外部顧客への売上高	94,905	85,037	90,149	10,768	51,572	17,836	350,270

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	東南アジア	その他	合計
298,698	27,215	15,053	9,303	350,270

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	東南アジア	その他	合計
86,910	5,881	5,839	834	99,465

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
外部顧客への売上高	71,789	73,353	67,032	8,314	53,200	14,496	288,187

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	東南アジア	その他	合計
234,987	26,774	16,625	9,800	288,187

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	東南アジア	その他	合計
87,875	5,886	5,265	779	99,807

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
減損損失	12	0	33	—	136	125	307

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
減損損失	10	102	3	—	3,000	133	3,249

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
当期償却額	—	—	—	—	423	—	423
当期末残高	—	—	—	—	3,874	—	3,874

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	菓子・食品	冷菓	乳業	食品原料	海外	その他	計
当期償却額	—	—	—	—	433	—	433
当期末残高	—	—	—	—	489	—	489

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	3,250.07円	3,284.19円
1株当たり当期純利益	180.02円	185.31円

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定上「期末株式数」は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(信託口)」所有の当社株式数(前連結会計年度54千株、当連結会計年度16千株)を控除しております。
2. 1株当たり当期純利益の算定上「期中平均株式数」は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(信託口)」所有の当社株式(前連結会計年度72千株、当連結会計年度36千株)、「役員報酬BIP(信託口)」所有の当社株式(前連結会計年度10千株、当連結会計年度 - 千株)を控除しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	11,844	12,047
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	11,844	12,047
普通株式の期中平均株式数 (千株)	65,795	65,013
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要	2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債(額面金額 300億円 新株予約権3,000個)	2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債(額面金額 300億円 新株予約権3,000個)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動(2020年3月24日付)

①代表者の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動

- ・新任取締役候補 取締役 本澤 豊(現 ソニー米国統括会社 Senior Vice President, Finance)

# 決算短信補足説明資料

-19年12月期 決算-

江崎グリコ株式会社  
Ezaki Glico Co.,Ltd.



## 1.連結経営成績

### (1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	19/3期 通期 調整後実績	19/12期 通期 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	284,830	288,187	3,357	1.2
営業利益	15,938	15,605	▲ 332	-2.1
経常利益	18,431	17,002	▲ 1,429	-7.8
当期純利益	11,886	12,047	160	1.4

### (2)地域ごとの売上高

単位：百万円

	19/3期 通期 調整後実績	19/12期 通期 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
日本	-	234,987	-	-
中国	-	26,774	-	-
東南アジア	-	16,625	-	-
その他	-	9,800	-	-
合計	-	288,187	-	-

※1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

※2 決算期変更に伴い、19/3期通期における調整後の地域別売上高実績は算出しておりません。

### (3)営業利益の状況

単位：百万円

	19/3期 通期		19/12期 通期	
	調整後実績	売上比(%)	実績	売上比(%)
売上高	284,830	100.0	288,187	100.0
売上原価	148,356	52.1	150,127	52.1
売上総利益	136,473	47.9	138,060	47.9
運賃保管料	24,216	8.5	24,855	8.6
販売促進費	45,593	16.0	45,753	15.9
広告費	12,197	4.3	11,717	4.1
人件費・厚生費	22,372	7.9	23,171	8.0
経費・償却費	16,155	5.7	16,957	5.9
販売費及び一般管理費	120,535	42.3	122,454	42.5
営業利益	15,938	5.6	15,605	5.4

営業利益の増減要因	対19/3期 通期(調整後)	
	内 国内	
①売上高増減による増減益	1,008	462
②販売品種構成の変化等による増減益	68	▲ 273
③原材料価格変動による増減益	▲ 318	▲ 327
④運賃保管料比率変動による増減益	▲ 354	▲ 164
⑤販売促進費比率・広告費増減による増減益	857	526
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 1,593	▲ 408
合計	▲ 332	▲ 184

## (4)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

	19/3期 通期 調整後実績	19/12期 通期 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	70,465	71,789	1,323	1.9
うち 菓子	55,506	57,289	1,782	3.2
うち 食品	14,958	14,500	▲ 458	-3.1
冷菓	71,048	73,353	2,305	3.2
乳業	69,681	67,032	▲ 2,649	-3.8
食品原料	8,476	8,314	▲ 161	-1.9
海外	51,403	53,200	1,796	3.5
その他	13,754	14,496	742	5.4
合 計	284,830	288,187	3,357	1.2

## (5)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	19/3期 通期 調整後実績	19/12期 通期 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	4,858	5,236	378	7.8
うち 菓子	4,459	4,965	506	11.4
うち 食品	398	270	▲ 127	-32.1
冷菓	7,076	6,209	▲ 866	-12.2
乳業	2,632	2,386	▲ 245	-9.3
食品原料	798	648	▲ 149	-18.7
海外	1,348	1,260	▲ 88	-6.6
その他	45	251	206	454.1
調整	▲ 820	▲ 388	432	-
合 計	15,938	15,605	▲ 332	-2.1

<参考> 換算レートについては以下レートを使用

19/3期 通期 調整後実績	19/12期 通期 実績
1CNY= 16.16円	1CNY= 15.85円
1THB= 3.41円	1THB= 3.52円
1USD=111.00円	1USD=109.37円

## 2.連結財政状態

単位：百万円

	19/3末	19/12末	増減		19/3末	19/12末	増減
流動資産合計	180,171	184,352	4,181	流動負債合計	81,749	80,689	▲ 1,059
現金及び預金	103,601	99,640	▲ 3,961	支払手形及び買掛金	33,831	36,020	2,189
受取手形及び売掛金	40,128	43,788	3,660	短期借入金等	417	244	▲ 173
棚卸資産	31,112	29,873	▲ 1,238	その他	47,500	44,424	▲ 3,075
その他	5,328	11,050	5,721	固定負債合計	45,849	42,207	▲ 3,641
固定資産合計	168,281	159,460	▲ 8,820	転換社債型新株予約権付社債	30,103	30,087	▲ 16
有形固定資産	99,465	99,807	341	長期借入金	220	-	▲ 220
無形固定資産	9,477	6,987	▲ 2,490	退職給付に係る負債	5,286	2,831	▲ 2,454
投資有価証券	41,799	35,302	▲ 6,497	その他	10,238	9,289	▲ 949
投資不動産	12,296	12,240	▲ 55	負債合計	127,598	122,897	▲ 4,701
その他	5,241	5,122	▲ 119	純資産合計	220,853	220,915	61
				株主資本	201,098	204,169	3,071
				その他の包括利益累計額	12,794	9,011	▲ 3,783
				非支配株主持分	6,960	7,733	773
資産合計	348,452	343,812	▲ 4,639	負債純資産合計	348,452	343,812	▲ 4,639